

(様式1)
報道資料提供

提供日	令和 5 年 8 月 28 日 (月)
発表事項 (タイトル)	第1弾 伊丹市・飯南町・阪南市連携 ソーシャルクレジットを活用 ～伊丹市庁舎のカーボンニュートラルを実現～
広報ポイント	<p>【伊丹市庁舎カーボンニュートラル実現】</p> <p>令和4年11月に開庁した伊丹市庁舎において、施設の脱炭素化として、「ZEB Ready認証」等の省エネの取組と、「太陽光パネルの設置」「再エネ100%電力の調達導入」「電気自動車と再エネ電力を同時活用したゼロカーボン・ドライブ導入推進」等の再エネの取組を合わせて実施し、大幅なCO2排出量削減を実現させました。</p> <p>今回、施設の脱炭素化を行っても、削減しきれないCO2量に対して、伊丹市・飯南町・阪南市の共同創出した「ソーシャルクレジット」を活用して、伊丹市庁舎カーボンニュートラルを実現させます。</p> <p>※令和5年度の年間で伊丹市庁舎カーボンニュートラルに必要なカーボンクレジット55t-CO2を「ソーシャルクレジット」で調達しました。</p> <p>これにより、4月1日～8月31日の間に伊丹市庁舎（公用車含む）で排出したCO2量（23t-CO2（推定値））をオフセットし、カーボンニュートラルを実現します。</p>
要旨・経緯	<p>「都市自治体 伊丹市」「森林保有自治体 飯南町」「海洋保有自治体 阪南市」では、互いの地域資源を生かし、補完し支え合う「地域循環共生圏」の考えを踏まえ、資源循環・環境保全活動等の交流による環境と経済の好循環を通じて「新たな価値を持ったカーボンクレジット（ソーシャルクレジット）」を創出に取り組むとし、令和5年4月10日「脱炭素社会実現に向けた地域循環共生に関する連携協定」を締結しています。</p> <p>第一弾事例として、(株)ソーシャル・エックスの仲介により、伊丹市が飯南町・阪南市と共創したソーシャルクレジットを活用し、伊丹市庁舎のCO2排出量をオフセットすることで、カーボンニュートラルを実現します。</p>
添付資料	
担当課	阪南市 未来創生部 シティプロモーション推進課 担 当 前田・重成・楠本 電 話 072-489-4510 (内線2339) FAX 072-473-3504